

YCU 第2クォータープログラム 派遣学生報告書

氏 名	Y.I	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学 年	2 年	派遣国	韓国
派遣大学	仁川大学		
コース名	INU International Summer Program		
期 間	2025 年 6 月 23 日～2025 年 7 月 11 日		

(1) 授業や課題、演習はどのような内容であったか。(800 字程度)

(可能な限り具体的に、印象に残った授業などの説明があるとよい)

私が受講した韓国語初級クラスは 1 冊の教科書をなぞる形で授業が行われた。ほかにも韓国語上級クラスと英語クラスがあり、申込時に韓国語か英語のクラス選択をし、韓国語を選択した場合事前に Web テストを受験しその成績で初級と上級に振り分けられるようだった。ほかの国から参加している学生とともに会話をする時間も設けられ、実践形式で学ぶことができる授業であった。課題は全部で5つであった。すべて授業最終日に提出するものであった。ペアの人と教科書の指定された形式の会話を作成、録音するというものと、自分で作文しそれを録音するというものがあった。特に授業の会話は他の国の学生とのペアワークだったため、韓国語が話せないとコミュニケーションが取れないということもあり、必然的に韓国語を話す力が付いたように感じた。教科書の内容も会話に特化した項目が多く、そのたびに発音や作文を練習することができ、とても身になる授業であった。はじめは自己紹介から始まり、自分の国の紹介や、相手の国について質問、相手や自分の趣味や好きなものについて話すようになった。授業の中でゲームをするような場面もありとても楽しんで授業を受けることができた。最後の課題の一つに韓国にいる間の思い出を写真や動画にまとめて、見せながらプレゼンテーションをするというものがあった。プレゼンテーション中は原稿を見てはいけないため、暗記して発表しなければならなかった。そのため、話す内容を覚えてその場で韓国語にすることが大変だったが、とても身になったと思う。プログラムの韓国文化体験はテコンドー、K-POP ダンス、トッポギづくり等体験できるものも多くとても楽しかった。また、ソウルやロッテワールドにも行くことができてプログラムの内容だけでも十分楽しめ、良い体験になったと思う。

(2) 授業を受けてどのような知識等が得られたか。(500 字程度)

韓国語初級の授業を受講して、日本で韓国語を学ぶより速いスピードで身についたと感じた。先生は講義内外問わずすべて韓国語で話し、同じ授業を受けているほかの国の学生たちとも韓国語で交流しなければならないため、分からない単語はその場で意味を調べたり、自分で韓国語を使って話す機会も多くなったりと、純粋に韓国語に触れる機会というものがあるが、日本に比べて当たり前ではあるがとても増加した。やはり触れる機会が増えるという単純なことではあるが、それによって早く上達したように感じる。それに加えて、教科書等には載っていないような、ネイティブが使用している表現にも触れることができた。また本プログラムの韓国文化体験では、韓国文化のテコンドー、K-POP ダンス、伝統料理などを体験して日本の文化との違いを知り、日本と韓国の両国の文化の違いに驚くとともに、両国の良いところに気づくことができた。特に、儒教の影響からか、年上への敬語が徹底されているということは、もともと聞いてはいたが想像以上であった。

(3) 授業を受ける前・受けた後でどのように（気持ちなどが）変化したか。(400 字程度)

留学に行く前は韓国語学習が不十分であると感じていたため、とても不安が残るままの渡航だったが、韓国で生活して韓国語を聴く機会が圧倒的に増え、リスニング力が一番飛躍的に伸びたと思った。日本で学習していた時は韓国語のリスニングを全くと言っていいほどやってなかったので、韓国に来たばかりの時は簡単なことも聞きとることができなかったが、毎日聞き続けることで最終的には簡単な会話は聞き取れ、話すことができるほどに上達したように感じた。韓国のパディも最後には上達したとほめてくれたので、とても自信になった。また、韓国語も学習するモチベーションも行く前よりはるかに向上したと思う。自分の学習するうえでの課題や、どのようにすれば上達するかも学ぶことができたので、これからの韓国語学習にとても役に立つと感じた。

(4) 今後どう生かしていくか。どのように学業を進めていくか。(300 字程度)

日本で学習するより速いスピードで韓国語の基礎を習得できたと思う。会話をするのが一番いい上達方法だと感じたので、これからも会話ができるような機会をもうけたいと思った。また、文法や単語力がまだまだであると実感したので、これからも継続して学習していきたいと思う。インプットよりアウトプットをすることが一番身につくなど留学中に感じたので、韓国語学習に限らず、さまざまな学習を進める上で、アウトプットできる機会を設けることを大切にしていきたいと考えた。